

株主の皆様へ

第109期 報告書



スバル興業株式会社

証券コード：9632

2022年2月1日～2023年1月31日

第109期の業績は好調に推移し、過去最高益を更新いたしました。



株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、当社グループの第109期（2022年2月1日から2023年1月31日まで）の経営成績がまとまりましたので、ここに事業の概要等をご報告申し上げます。

当社グループは、新たな3カ年計画『中期経営戦略2022-2025 TRY! 2025』を策定し、更なる企業価値の向上に努めました結果、計画初年度の業績は、各段階の利益において過去最高益を更新いたしました。

また、期末配当につきましては、普通配当に特別配当を加え、1株につき250円（中間配当を含めた年間配当金は1株あたり380円）とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年4月

取締役社長 永田 泉治

財務ハイライト（連結）

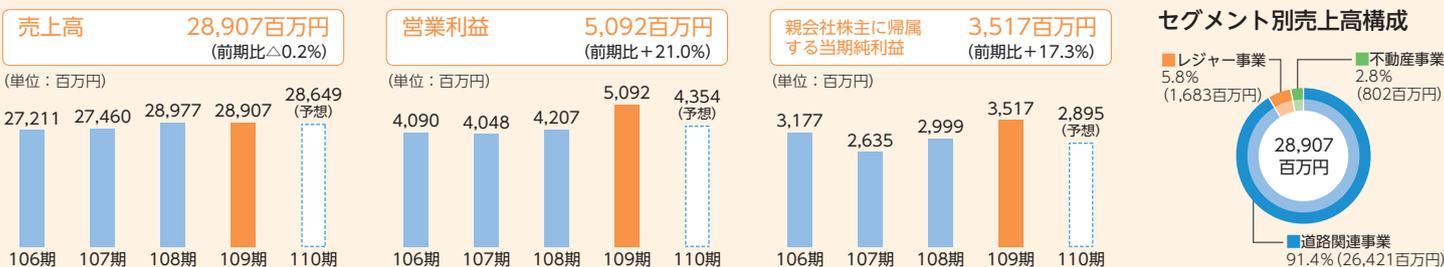
経営成績の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、ウィズコロナを前提とした社会経済活動の正常化が進み、景気の緩やかな持ち直しが見られたものの、海外景気の下振れによる景気の下押しリスクや物価上昇等の影響により、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、更なる企業価値の向上を図るため、当連結会計年度を初年度とする新たな3カ年計画『中期経営戦略2022-2025 TRY! 2025』を策定し、各事業において業績の向上に努めました結果、当連結会計年度における売上高は28,907百万円、営業利益は5,092百万円、経常利益は5,206百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,517百万円となりました。

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、売上高28,649百万円、営業利益4,354百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,895百万円を見込んでおります。



営業の概況

道路関連事業

売上高 26,421百万円 (前期比+1.1%)
セグメント利益 5,269百万円 (前期比+18.0%)

主な事業

- 道路・橋梁・河川 維持工事
- 道路・河川 保全作業
- 橋梁・構造物等の設計業務
- 有料道路等の売店運営
- 道路環境関連製品の販売
- 太陽光発電事業

道路業界においては、引き続き政府による防災・減災、国土強靱化対策の推進もあり、公共投資が底堅く推移しましたが、慢性的な人手不足や受注競争の激化、労務費および資機材・燃料価格の上昇等、依然として予断を許さない状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループの道路関連事業（道路維持管理業務、道路土木工事、道路清掃業務他）は、年間契約を主とする道路維持管理業務において入念な点検結果を踏まえた施工提案を積極的に行うことにより、追加工事の受注に努めると共に、高速道路のリニューアル工事等において業務の効率化やコストの削減に努めました。また、道路土木工事においては、熾烈な受注競争のなか、積算精度の向上により、橋梁補修工事をはじめとする各種工事の受注に努め、道路清掃業務においては、継続的な受注を確保し、路面清掃や植栽作業、雪氷対策作業等により、安定的に稼働いたしました。

以上の結果、道路関連事業は前期比で増収増益となりました。



橋梁補修工事

レジャー事業

売上高 1,683百万円 (前期比△19.2%)
セグメント利益 154百万円 (前期比+86.3%)

主な事業

- 飲食店経営
- 飲食物品等販売
- マリナーの運営

飲食事業は、社会経済活動の正常化が進み、客足の回復基調が見られたものの、原材料価格や光熱費の急激な上昇、需要回復に応じた労働力の不足等、事業環境は依然として厳しい状況が続きました。

このような状況のなか、飲食店においては、SNSを活用したPR情報の発信やテイクアウト販売の強化を継続すると共に、季節に合わせた付加価値の高い新メニューを提供し顧客単価を上げることで、売上の回復に努めました。

また、物品販売においては、高速道路売店等への積極的な商品提案により、販路拡大に努めました。

なお、2022年8月に南イタリア・シチリア料理店『エトナマーレ』（神奈川県横浜市）を閉店したことにより、当連結会計年度末現在の飲食店舗数は6店舗となりました。

マリナー事業においては、『東京夢の島マリナー』『浦安マリナー』における年間契約の船舶係留数が引き続き高水準で推移しました。また、コロナ禍で中止していたヨットレース「スバルザカップ」をはじめとするイベントの再開や各種サービスの拡充により、新規顧客の獲得に努めました。

以上の結果、レジャー事業全体の売上高は、収益認識に関する会計基準等の適用の影響により、前期比で減収となりましたが、セグメント利益は増益となりました。



スバルザカップ

不動産事業

売上高 802百万円 (前期比+4.9%)
セグメント利益 517百万円 (前期比+7.8%)

主な事業

- 賃貸ビル
- 賃貸倉庫
- 賃貸駐車場
- 土地の賃貸

不動産事業は、『吉祥寺スバルビル』や『新木場倉庫』等の賃貸物件が堅調に稼働し、前期比で増収増益となりました。

なお、2022年7月に東京都八王子市内に、同10月に兵庫県姫路市内にそれぞれ事業用地を取得し、賃貸を開始しております。

Topics

「企産企消」の取り組み～農業プロジェクト～

当社グループは、『中期経営戦略 2022-2025 TRY!2025』において「農業プロジェクトの立ち上げ」という目標を掲げており、自社で作物を生産し、当社グループ内で消費する「企産企消」を目指しています。

その取り組みの第一段階として、農業生産法人株式会社さくらファーム様のご協力のもと、宮城県大郷町の休耕地を再活用し、お米（ブランド名「つや姫」）を栽培しました。

2022年10月には同地で収穫したお米を福利厚生の一環としてグループ従業員に配布したほか、今後は当社グループで運営する飲食店などでの提供を模索しています。当社グループは本取り組みを通じ、自然維持と共に、雇用創出による地域の活性化に貢献してまいります。



連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前期	当期
(資産の部)		
流動資産	20,113	21,801
固定資産	13,999	14,445
有形固定資産	11,577	12,291
無形固定資産	454	368
投資その他の資産	1,967	1,785
資産合計	34,113	36,246

科目	前期	当期
(負債の部)		
流動負債	4,483	4,070
固定負債	935	940
負債合計	5,419	5,010
(純資産の部)		
株主資本	28,601	31,136
その他の包括利益累計額	0	0
非支配株主持分	91	98
純資産合計	28,693	31,235
負債純資産合計	34,113	36,246

POINT 1

当連結会計年度末の総資産は、現金及び預金の増加、土地の取得等により前連結会計年度末に比べ2,133百万円の増加となりました。負債は、未払法人税等の増加等がありましたが、支払手形及び買掛金の減少等により前連結会計年度末に比べ408百万円の減少となり、純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ2,542百万円の増加となりました。

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前期	当期
売上高	28,977	28,907
売上原価	22,938	21,865
売上総利益	6,038	7,042
販売費及び一般管理費	1,830	1,950
営業利益	4,207	5,092
営業外収益	246	114
営業外費用	2	0
経常利益	4,451	5,206
特別利益	6	5
特別損失	49	—
税金等調整前当期純利益	4,408	5,212
法人税、住民税及び事業税	1,429	1,679
法人税等調整額	△23	7
当期純利益	3,002	3,524
非支配株主に帰属する当期純利益	3	7
親会社株主に帰属する当期純利益	2,999	3,517

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科目	前期	当期
営業活動による キャッシュ・フロー	3,528	3,582
投資活動による キャッシュ・フロー	△697	△1,305
財務活動による キャッシュ・フロー	△891	△1,020
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,940	1,259
現金及び現金同等物の期首残高	10,382	12,322
現金及び現金同等物の期末残高	12,322	13,582

POINT 2

当連結会計年度の売上高は、道路関連事業26,421百万円、レジャー事業1,683百万円、不動産事業802百万円の合計28,907百万円(前期比△0.2%)となり、営業利益は5,092百万円(前期比+21.0%)、経常利益は5,206百万円(前期比+17.0%)、親会社株主に帰属する当期純利益は3,517百万円(前期比+17.3%)となりました。

会社の概況

会社概要 (2023年1月31日現在)

設立	1946年2月9日
資本金	1,331百万円
主要な事業所	47カ所
従業員数	232名(連結674名)
URL	https://subaru-kougyou.jp/
本社	〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目10番1号 TEL 03-3213-2861(代表)
関西支社	〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西二丁目4番12号 TEL 06-6476-8801(代表)
主な事業内容	道路維持管理業務、道路土木工事、道路清掃業務、 橋梁・構造物等の設計業務、有料道路等の売店運営業務、 太陽光発電事業、飲食・物販等の事業、 マリナーの運営事業、不動産賃貸業

取締役および執行役員 (2023年4月27日現在)

代表取締役会長	小林 憲 治
代表取締役社長 社長執行役員	永田 泉 治
取締役 専務執行役員	今沢 宏 之
取締役 執行役員	上野 俊 明
取締役	太古 伸 幸
取締役	社外 独立 宮家 邦 彦
取締役(常勤監査等委員)	社外 遠藤 信 英
取締役(監査等委員)	社外 独立 野元 三 夏
取締役(監査等委員)	社外 独立 上村 多 恵子
常務執行役員	竹島 美 喜
執行役員	大西 政 樹
執行役員	松原 正 司
執行役員	佐藤 章 夫
執行役員	平田 朋 之



TOHOシネマズギフトカード

TOHOシネマズでのチケットやグッズの購入、ご飲食にご利用可能なプリペイド式のカードです。

全国の『TOHOシネマズ』においてご利用可能

ご利用方法やご利用可能劇場については、同封の「TOHOシネマズギフトカードのご案内」をご覧ください。

ご注意 有効期限あり：2023年5月1日（月）より1年間ご利用できます。

株式保有数	継続保有期間3年未満	継続保有期間3年以上
100株以上	2,000円分	3,000円分
200株以上	3,000円分	4,000円分
300株以上	4,000円分	5,000円分

継続保有期間3年以上とは、基準日(1月末日)の株主名簿に同一株主番号で連続して4回以上記載または記録されていることといたします。

株式の状況 (2023年1月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数：4,000,000株

発行済株式の総数：2,662,000株

株主数：6,261名(前期比+1,030名)

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東宝株式会社	1,361	52.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	95	3.70
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDP AIF CLIENTS NON TREATY ACCOUNT	84	3.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	38	1.50
OASIS INVESTMENTS II MASTER FUND LTD.	30	1.16
ROYAL BANK OF CANADA (CHANNEL ISLANDS) LIMITED - REGISTERED CUSTODY	28	1.08
吉田知広	24	0.95
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	20	0.79
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	20	0.77
SINFONETTA MASTER FUND DIRECTOR SHUNICHI SHIOZAWA	20	0.77

(注) 1. 当社は、自己株式87,276株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除し、小数点第2位未満を切捨てて表示しております。

株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
配当金受領株主確定日	期末配当金 1月31日、中間配当金 7月31日
基準日	定時株主総会 1月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して 定めた日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://subaru-kougyou.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載いたします。)

お知らせ

1. 単元未満株式の買取請求にかかる費用は無料です。

株主様がご所有の単元未満株式を当社にご売却いただくことができます。この場合の手数料については無料といたしております。

- 特別口座に記録された単元未満株式の買取請求のお手続き
▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。
 - それ以外の単元未満株式の買取請求のお手続き
▶ 口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。
- ※・証券会社を通じてのお手続きで、所定の手数料がかかる場合があります。
・当社は単元未満株式の買増請求は行っておりません。

2. 特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録された株式については、単元未満株式の買取請求を除き特別口座のままでは売買することができません。売買するためには、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。

- 特別口座から一般口座への振替のお手続き
▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。

3. 配当金の受け取り方法について

ゆうちょ銀行または郵便局の窓口に「配当金領収証」を持参し配当金をお受け取りする方法に代え、**銀行預金口座への振込**の方法がございます。お受け取りをお忘れになることもなく、安全で確実に配当金をお受け取りになれる銀行預金口座振込方式を是非ご利用ください。

- 配当金の振込指定のお手続き
▶ 口座を開設している証券会社または三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。

「報告書」および「中間報告書」紙面発送取り止めのご案内

株主の皆様へお送りしておりました「報告書」「中間報告書」につきましては、地球環境等を配慮した資源節約の観点から、**今号をもって紙面による発送を取り止めさせていただきます。**次号(第110期「中間報告書」)より、当社ホームページへの掲載のみとさせていただきますこといたしました。何卒ご理解いただけますよう、お願い申し上げます。

当社ホームページ > IR情報 > 株主総会・報告(通知)書
または右記QRコードよりご覧になれます。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

